情報（じょうほう）

避難情報等

警戒レベル		避難情報等	住民が取るべき行動
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保	**命の危険、直ちに安全確保!** ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況ですので、「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません。 ・いまいる場所より安全な場所へ直ちに移動等する。
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	避難指示	**危険な場所から全員避難** ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。
3	災害のおそれあり	高齢者等避難	**危険な場所から高齢者等は避難** ・避難に時間のかかる高齢者などは、このタイミングで危険な場所から避難する。 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁発表）	**自らの避難行動を確認** ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁発表）	災害への心構えを高める

気象情報等の入手方法

大雨・土砂災害対策の基本は情報収集です。さまざまな方法で情報が配信されていますので、気象、雨量、水位情報に注意し、早めの行動を心がけましょう。

防災ラジオ

必要な気象情報や避難に関する情報などは、まずは防災ラジオでお知らせします。

テレビのdボタン

KBC1チャンネルに合わせ、リモコンのdボタンを押すと表示される「dボタン広報誌」では、八女市からのお知らせを配信しています。

八女市ホームページ

避難に関する情報などをホームページに掲載します。

気象庁 あなたの街の防災情報

避難所の開設・混雑状況

避難所の開設・混雑状況が地図上で確認できます。

防災メールまもるくん

福岡県や自治体が発信する災害・防災に関する情報などをメールでお届けします。

八女市公式LINEアカウント

防災ほか、生活に役立つ情報をお届けします。

LINE、ホーム画面の友だち追加から「@yamecity」とID検索するか、左のQRコードから登録できます。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

心得（こころえ）

避難時の心得

いざという時、あわてず、冷静に

日頃から避難に必要なものを用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておきましょう。

1 正確な情報収集を

防災ラジオやテレビなどで最新の気象情報を入手しましょう。

2 早めの行動を

非常時の持出品を確認し、危険を感じたら早めに行動できるように準備しましょう。

3 避難の呼びかけに注意

市から発令される避難情報等に注意しましょう。

4 配慮の必要な人の避難に協力を

高齢者や障がいのある人、妊産婦など、速やかな避難が難しい人を支援しましょう。

5 動きやすい服装で

浸水時、長靴は水が入って歩きにくくなります。歩きやすい靴で避難しましょう。

6 避難する時は2人以上で

避難するときは近所の人と声をかけ合って。また、塀ぎわ・崖・川に近づかないようにしましょう。

7 避難所へ行くことだけが避難ではありません

避難所へ行くことが危険な場合は、より安全な場所へ避難しましょう。

- より安全な親戚・知人宅・ホテルなど
- 自宅の2階などへの垂直避難
- 自宅の崖や川から離れた部屋への避難（屋内安全確保）

8 避難先での感染症対策

- マスクを着用し、咳エチケットを心掛けましょう。
- 手洗い・消毒・検温の励行
- 密をさけ、換気に協力ください。

支援（しえん）

災害時における要配慮者のために

避難時や避難所において、助けが必要な人を守るために、助け合いましょう。

高齢者

危険の察知や状況の判断、避難が困難な場合があります。
高齢者のみの世帯などへ、隣近所で声をかけ合いましょう。

障がいのある人

- 車いすを利用される人
  階段の上り下りなどは、複数人で支援しましょう。
- 知的障がいなどがある人
  障がいは身体によるものだけではありません。困っていることがないか声をかけ合いましょう。
- 目や耳が不自由な人
  手話、筆談、身振りや、ゆっくりした大きな声など、様々な方法で伝えましょう。

外国人

わかりやすい日本語を使って、ゆっくり、はっきりと伝えましょう。

妊産婦や乳幼児のいる家庭

乳幼児を連れての避難は、ミルクやおむつなどの持ち出し品も多くなります。周囲の人が支援しましょう。

避難所での3つのマナー

1 ゆずりあい

避難所は限られたスペースしかありません。トイレの順番などもゆずりあいましょう。

2 たすけあい

健康で元気な人は、避難所運営のお手伝いをお願いします。

3 おもいやり

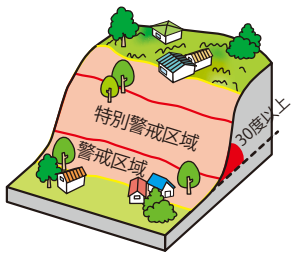
小さな子どもは、日常と異なる状況でパニックになったり、不安になって泣いたりすることもあります。また、様々な理由で順番に並ぶことができない場合などもあります。
みんなで見守りましょう。

土砂災害（どしゃさいがい）

土砂災害

土砂災害警戒区域の地形条件

急傾斜地の崩壊

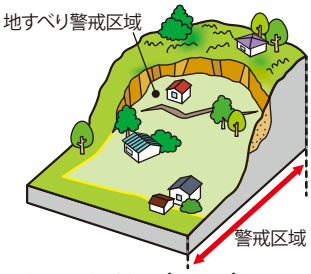


傾きが30度以上の土地が崩れる自然現象

こんな前触れに要注意

- 斜面からの水が濁る
- 地下水やわき水がとまる
- 斜面のひび割れ、変形がある
- 小石が落ちてくる

地すべり

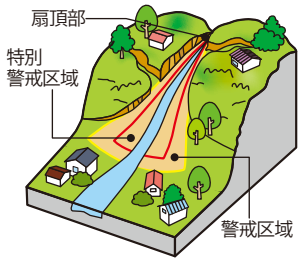


地下水の水位が上がり、地面の一部が滑り落ちる自然現象

こんな前触れに要注意

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

土石流



山腹が崩れて発生する土石や渓流の土石が一気に崩れる自然現象

こんな前触れに要注意

- 山鳴りがする
- 川が濁ったり、流木が流れる
- 雨が降り続いているのに、川の水位が下がる

夜間や強い風雨の中、屋根などの補強、田畑や河川の見回りを行うのは危険です。絶対にやめましょう。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域とは

土砂災害警戒区域（イエローゾーン） … 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） … 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域

風水害（ふうすいがい）

風水害

大雨や台風などの危険が迫ってきた場合は、気象情報を確認し、早めに行動しましょう。

雨の強さ						
	1時間雨量（mm）	10～20	20～30	30～50	50～80	80以上
	雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	雨の降り方	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	恐怖を感じる

風の強さ					
	平均風速m/s（時速km/h）	10～15（50）	15～20（70）	20～30（110）	30以上
	風の強さ	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
	人への影響	傘がさせない	転倒する人も出る	何かにつかまっていないと立っていられない	屋外での行動はきわめて危険